



No.159

平成29年12月1日

議会広報

いってらっしゃーい

- P2・3 平成28年度決算資料
- P4 決算審査特別委員会
- P5 平成28年度決算審査意見書
- P6～P10 一般質問
- P11 議決結果
- P12 議決結果・意見書提出
- P13 意見書（オスプレイ緊急着陸）
- P14 意見書（大型輸送ヘリの事故）
- P15 農業委員及び選挙管理委員紹介・研修報告
- P16 総務常任委員会所管事務調査報告
- P17 経済・公営企業常任委員会所管事務調査報告
- P18 みんなの声聞いてみました
- P19 私たちの未来
- P20 ワッタウムイ
- P21 議会活動
- P22 題字提供はこの方

いってらっしゃーい!

民泊で広がる絆



第7回9月定例会

の黒字決算

(6会計)を認定

歳入79億5,068万円

平成29年第7回(9月)定例会を、9月20日～22日までの3日間の会期で開きました。

本定例会では、平成28年度各会計の決算認定や平成29年度一般会計及び特別会計補正予算案等21議案を審議しました。(審議結果は11ページをご覧ください。)

また、開会初日には一般質問が行われ、5人の議員が村の対応や考えを問いました。

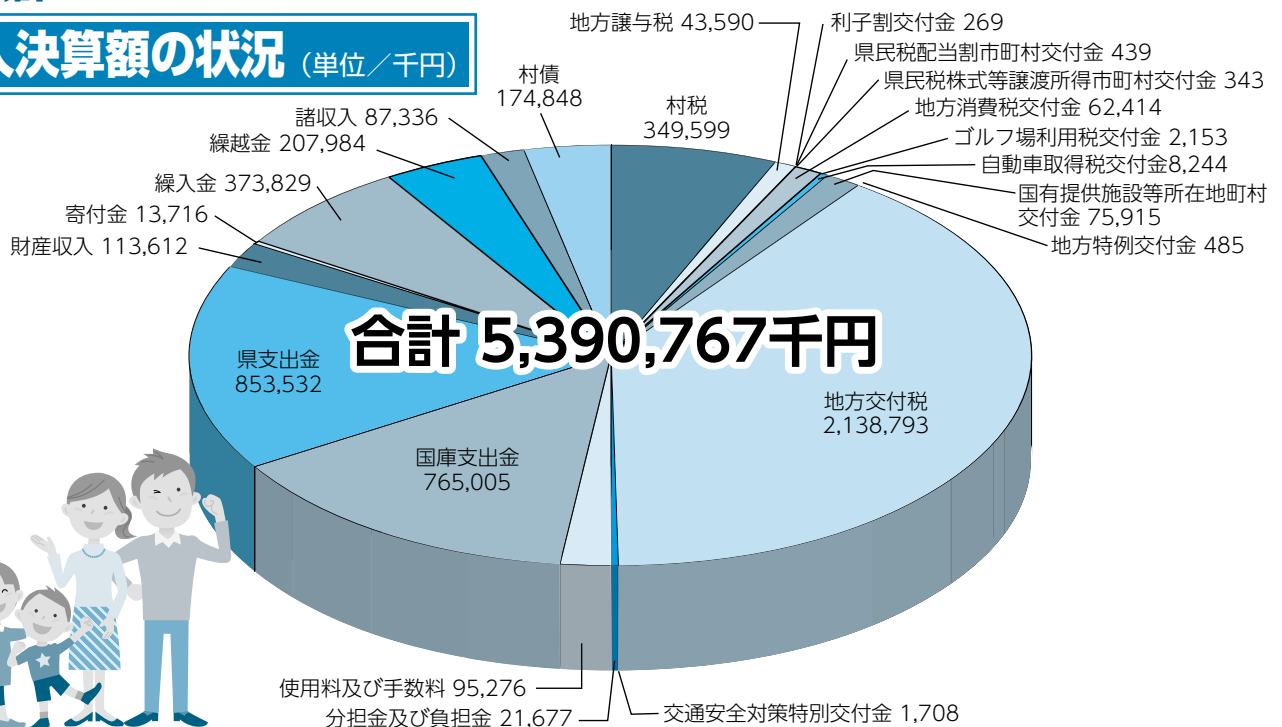
平成28年度 会計別決算状況

単位:円

会 計 名	決 算 額	
	歳入(収入)	歳出(支出)
一 般 会 計	5,390,767,703	5,262,867,982
特 別 会 計	診 療 所	368,786,311
	国民健康保険	318,790,980
	後期高齢者医療	1,084,785,279
	水道事業	69,027,789
	船舶運航事業	67,618,984
		233,115,539
		209,093,550
		759,706,373
		629,913,442

一般会計

歳入決算額の状況 (単位/千円)



平成29年



1億2,789万

平成28年度決算

総額 歳出75億7,307万円

平成28年度決算の認定にあたっては、全議員で構成する決算審査特別委員会を設置し、付託された各会計決算の議案について、慎重に審査を行いました。

その結果、付託された6会計決算はすべて認定すべきものと決定されました。

村民1人당にに使われたお金はいくら？

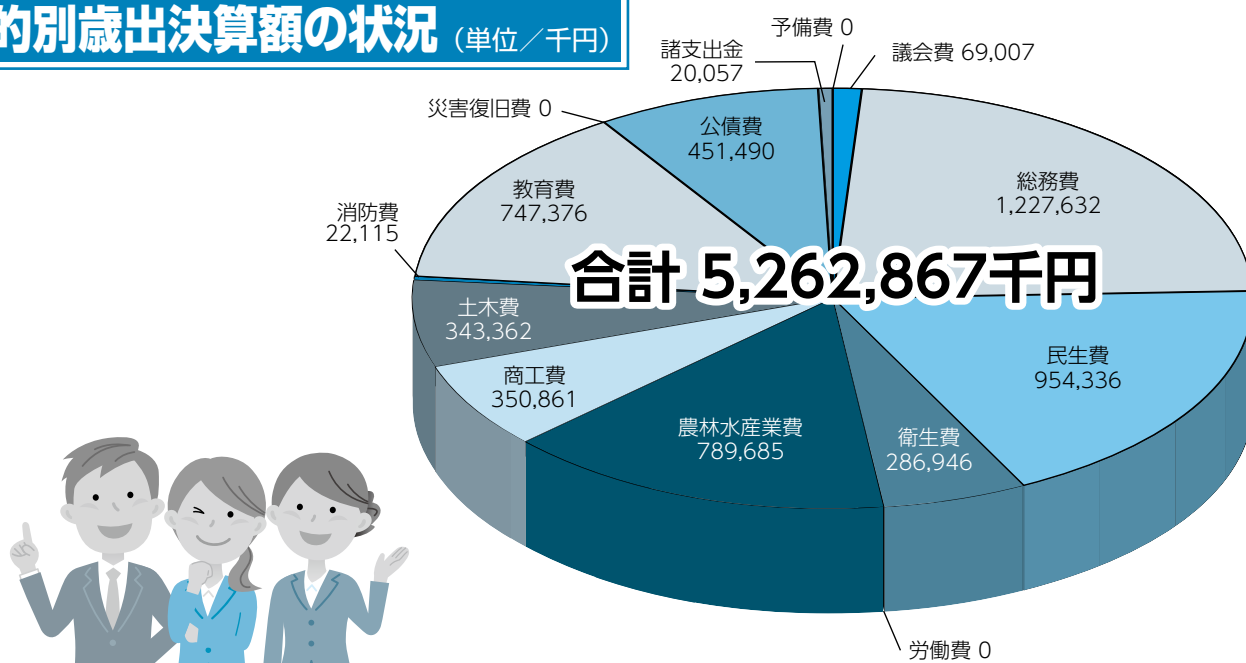
1人당 1,135,952円

1世帯당 2,373,868円

※一般会計歳出予算額(52億6,286万7千円)を平成29年3月末の人口(4,633人)、世帯(2,217世帯)で割り、算出しました。

一般会計

目的別歳出決算額の状況 (単位/千円)



決算審査特別委員会質疑

問 LHDデッキの建設について建設残土が使われているが公共工事と同じ村の土地を使用させ、しかも建設残土を無償で提供するということについてどう考えるか。

答 基本的にLHDの工事については中止を求めているという中で、分遣隊あるいは工事関係者に聞き取りを行い、内部でどのような方法ができるのか調整してきたい。

問 E&Cセンター運営費について村内から出る大型家電、村の産廃業者が村外へ搬出していると思うが、平成28年度分の村の実績は。

答 平成28年度の家電リサイクル収集運搬実績といたしまして、冷蔵庫、テレビ、洗濯機、エアコン、あわせて175台で運搬実績として65万1,521円です。

問 10年ほど前までは診療所会計への繰出金は5,000万円から多いときでは6,000万円という多額のお金が繰り出されておりましたが、ここ数年は3,000万円台になっており診療所関係者皆さんのおかげだと思いますが、28年度は500万円余り多くなっていますが多くの理由は。

答 人工透析に係る人件費として28年度は500万円増えています。

問 長寿を誇る長野県を視察してきましたが、長野県ではいろんな方で健康づくりに取組んでいます。本村

でも、村長が先頭に立って健康づくりを推進する必要はないか。

答 まずは役場から盛り上げながら、健康福祉まつり、あるいはチャレンジデーなど、いろんなイベントと連携を図り全村的に広がっていくよう取り組んでいきたいと思っています。

問 JAが委託管理しているかん水車の使用目的が、サトウキビだけに限定しているように思いますが、他の作物農家から、かん水の要請があれば多種多様な農産物に使用できるのか。

答 製糖工場で管理しており、サトウキビだけに特化しているように、農家の皆さんが思えたかもしれません。干ばつ協議会でも、次は作物全体を対象とした干ばつ対策に入っていくのではないという話もやっております。今後委託管理しているJA側とも、かん水車のあり方について再度、確認をしながら利用目的に沿った活用ができるように調整をしていきたいと思っています。

問 今回、教育費の予算残が全体的に多いような気がし、予算管理がちゃんとされていないという感じを受けるが、その理由の説明を願いたい。

答 教育長として管理が十分ではなかったということを非常に反省しております。こういったことがないように、平成29年度はもっと細かに確認をしていきたいと思っています。

問 診療所での診察者が増え施設全体的に手狭ですが、インフルエンザの患者と感染しない患者を分けるような隔離病室の整備できないか伺いたい。

答 隔離病室については、早急に取組めるよう業務をしつかりと進めていきたいと思っています。

問 新しく診療所駐車場を整備したのですが、駐車場が遠く歩くのが大変で路上駐車をしている人が多く見受けられるが、近くに立体駐車場の整備等はあるのか。

答 診療所の駐車場と透析センターの駐車場の整備については、患者優先のような駐車場に向けて取り組んでいる、立体駐車場については、今後調査を行い検討させていただきたいと思っています。

問 平成28年度のフェリー欠航回数、資料によると27回ありました。フェリーの欠航について、基準はあるのか。

答 台風に対して、備えるために避難する時機を逸してしまつと、その財産に損害を与える可能性があるというところで、実際、風は強くなっても、うねりや波がなくても、早目に欠航を決める場合がございます。港内のうねりが大きくて接岸出来ない場合は船長、運行管理者、両方で協議をして決定をしている状況です。

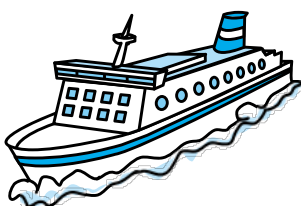
問 村外への行事が重なった場合、ターミナル前の駐車場がいっぱいになり、東の奥の方や伊江貨物の南側の荷捌き場の南側のほうまで満車になります。以前は、ラインが引かれていましたが、現在では全部消えてしまっている状況ですがラインの引き直しは出来ないか。

答 港湾は県の管理ですが、これまで公営企業課が独自でラインを、引いた経緯がございます。

また、ラインの引き直しができるか関係機関と調整し、きちんと駐車できるように努めたいと考えております。

問 他の離島では乗船券の半分が手元に残り、半券には島の写真や観光PRが書かれているのがあります。観光を推進している本村でもサービスの一環として半券が残る乗船券の作製は出来ないか。

答 どのようなデザインになるかを含めて今後、検討をさせていただき早目に実施できるようにやっていきたいと思っています。



平成28年度 決算審査意見書

伊江村監査委員

代表監査委員 具志川 豊秀 議選監査委員 亀里 敏郎

一般会計

決算審査の結果、財政運営は、一般会計他3特別会計とも、所期の事業が計画どおり執行され黒字決算で翌年度へ引き継ぐことができたことは高く評価するものである。今後においても、収支均衡に留意されつつ、現下の経済の閉塞感を打破すべく積極的な投資的経費に重点をおいた財源配分と消費的経費の節減・合理化を図り、地方自治の本旨である「最小の経費で最大の効果を上げる」このことが行政の使命であり、住民福祉の増進に尚一層の努力を望むものである。

国民健康保険特別会計

国民健康保険特別会計は、総体的に見て財源の厳しい中ではあるが健全な財政運営を目指し、国保対象者2,096人の健康維持・増進に繋がる努力を望むものである。

国民健康保険税で2,018万2,342円（159件）の収入未済額があり、その内訳は過年度1,658万2,842円（81件）、現年度分359万9,500円（78件）となっている。今後とも徴収業務に尚一層取り組みを望むものである。

後期高齢者医療特別会計

後期高齢者医療特別会計は「高齢者の医療の確保に関する法律」による医療制度で75歳以上と一定の障害のある65歳以上の819人が対象の医療制度となっている。歳入については、後期高齢者医療保険料（68.3%）一般会計繰入金（26.3%）等で、歳出は総務費（1.6%）と後期高齢者医療広域連合納付金（95.2%）となっている。

診療所特別会計

診療所特別会計は、収支においては、診療事業収入だけでは運営できず、毎年度一般会計から繰り入れがある。当年度の実質単年度収支では、前年度より3,657万2千円の減となっているが、その主な要因として医療サービスの向上のために医師及び医療スタッフの増員等による。その結果、地域に密着した安定的な医療が提供され外来患者が増えている。また、人工透析センターの充実も相俟って、今後ますます村民の診療所への期待は増大するものと思われる。今後とも村民の健康寿命の延伸に、診療所と人工透析センター及び保険業務との連携強化により、施設や医療機器を活かした村民の疾病予防の強化を図り、村民の健康管理に尚一層の取り組みを望むものである。

水道事業会計

当年度の自己水源取水量は20,129㎥で前年度比69.3%の大幅な減になっている。平成26年度の120,517㎥以来、取水量は急激に減少傾向にあり、特に、平成27年度、28年度はこれまでと比較して著しく低い取水量となっている。

自己水源取水量は全ての水源において大幅な減となり、特に自己水源の多くを占める湧出水源は15,070㎥と年々減少し、極めて厳しい現状にある。

同水源は前年度の42,094㎥から27,024㎥（△64.2%）の大幅な減となった。自然条件に恵まれず、整備の故障や老朽化等が大きな要因と言えるが、早急な復旧はもとより後は施設の整備及び採算性を考慮しながら重要な自己水源の確保のために努めていただきたい。

船舶運航事業会計

船舶運航事業は、新公会計制度への移行に伴い平成26年度は欠損額が生じたが、昭和54年度以降連続の黒字決算を維持し、当年度は1億2,979万2,931円の黒字決算となった。

その主な要因には安定した旅客と車輛航送及び燃料費があげられ、とりわけ燃油価格は当年度も安値で推移しており、対前年度比1,901万2,152円（32.2%）減となる。

燃料費は、5,887万3,400円となり営業費用の9.8%を占める。今後の経営も燃油価格と密接な関係にあることから価格変動には十分配慮し経営に当たる必要がある。

旅客輸送については、ここ5年間は50万人越えで推移し好調であったが、当年度は49万6,354人（1日平均1,360人）で対前年度14,031人（△2.7%）の減となった。車輛航送数は、7万8,931台（1日平均216台）で前年度比63台（△0.1%）の微減で、旅客輸送、車輛航送ともに減となった。

当年度の欠航日数は13日で台風の影響による欠航が8日、海上時化による欠航は5日（欠航回数27回「前年度43.5回」）となった。

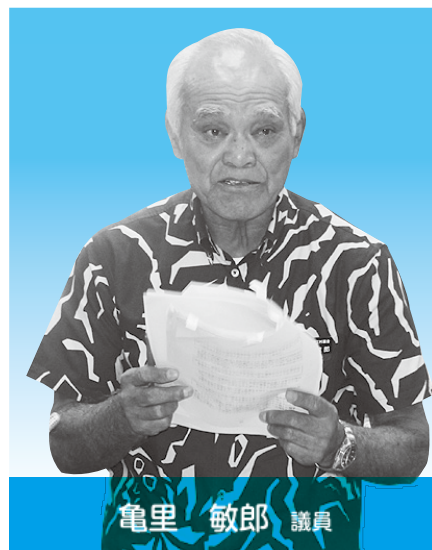
また、純利益については、当年度は1億2,979万2,931円の利益があり、前年度比1,696万3,794円（13.6%）増となり、船舶運航事業は健全な運営がなされている。

これからも適正な運営計画の下、旅客及び車輛航送の利用状況を的確に判断し、船舶運航事業の健全運営と村民、観光客等の海上交通サービスの向上と安全運航に取り組まれ一層の研鑽を要望します。

村政のここを問う！

9月定例会 一般質問

① 昭和・平成時代の伊江島出身者、著名人名鑑の発刊について
村長／発刊へ向け検討していきたい



亀里 敏郎 議員

問

2017年6月9日天皇の生前退位特例法が、参院本会議で2000年ぶりに可決され、2018年12月か、2019年3月に皇位継承が実現すると思われる。この日程につきましては、去った9日の記載してあります。

明治以後は、一世一元となり1979年公布の元号法も、皇位の継承があった場合

答

近年、伊江村史の他に「記念誌発刊」の機運が高まりを見せ、平成5年には、伊江村農協と伊江漁協がそれぞれ「記念誌」を発刊しているほか、記憶に新しいところで「民俗芸能保存会結成40周年記念誌」「葉たばこ栽培55周年記念誌」など、組織の発足から今日までの足跡はもと

に限り改めると規定されております。平成時代も残りわずかなとなりました。新たな年号を契機に、昭和・平成時代に活躍し、伊江島を盛り上げた、教育・文化・経済・国県職員、スポーツなど、あらゆる分野を網羅した、名鑑を発刊してはと切望しておりますが、御見解を伺いたい。

答

近年、伊江村史の他に「記念誌発刊」の機運が高まりを見せ、平成5年には、伊江村農協と伊江漁協がそれぞれ「記念誌」を発刊しているほか、記憶に新しいところで「民俗芸能保存会結成40周年記念誌」「葉たばこ栽培55周年記念誌」など、組織の発足から今日までの足跡はもと



より、組織を支えてきた歴代役員の名簿、有志の方々の回想録や座談会などを織り交ぜた特色ある魅力的なもののばかりでございます。

このようなことから、著名人名鑑の発刊については、その意義は理解できませんが、「著名人の定義」についての線引きが曖昧なことや、政治・経済、文化、スポーツ界等、各方面での著名人の情報を収集し調査・編集・確認を行うためには、専門的知識を有し、地元の実情を熟知した人材が相当数必要となり、それらを統率する卓越した能力や経験を持った有識者の確保等、現状においては多くの課題があると思料いたしますが、当然編集委員の部分や事務局等、内部で発刊へ向け検討していきたい。

② 自治体の一般職非常勤職員に
期末手当と退職手当の支給について
村長／本改正法に則した非常勤職員等の任用ができるよう対応していきたい

問

5月12日、沖縄タイムス紙面に、非常勤職員にもボーナス、地方自治法改正、格差解消を図るとの記事があり、自治体で働く一般職の非常勤職員に、期末手当（ボーナス）を支給できるよう5月11日の衆院本会議で可決成立しており、施行は2020年4月1日、東京オリ

ンピックの年となる。なお、改正法は一般職非常勤職員としてフルタイムで働く人は、退職手当も支給できると明記してあります。

施行まで時間的余裕は十分あるが、現時点での改正法への対応について御見解を伺いたい。

答

地方自治体の一般職の非常勤職員に期末手当（ボーナス）を支給できるようにする「地方公務員法及び地方自治法の改正法」が、国会において可決成立し、5月17日に公布をされました。

本村においてはこれまで、「非常勤職員」の処遇を、「臨時職員に関する規則」等において定めており、ここ数年で「賃金のアップ」や「有

給休暇」の導入等、年次的に改善を図ってまいりました。さらに、4次にわたる伊江村行政改革大綱に基づいて、正規職員については「定員適正化計画」を策定し、組織において、最適と考える任用・勤務形態の人員構成を図ってまいりました。一方で、保健師等の有資格者や能力経験の豊富な非常勤職員についても、「嘱託職員に関する規則」を制定して相応の月額給与を支給するなど、改善を図ってきた経緯もございます。

改正法施行まで2年余りあるとはいえ、働き方改革に向けた国を挙げた大きな制度改革であり、関係条例の制定、人事・給与システム等の改修会計年度任用職員の募集と採用など、取り組むべき課題は多くあります。今後も総務省からの「制度解説やマニュアル」等を踏まえ、しっかりと情報収集に努めていくとともに、本改正法に則した非常勤職員等の任用ができるよう対応してまいりたいと考えております。

① 各行政区に遊具の復活を

村長 地域のバランスなど、総合的に勘案した上で再整備の検討を行っていききたい

問 平成28年度にミースイ

公園や青少年旅行村には大型の遊具が設置され、幼児・児童や観光客等に喜ばれている。

しかし、各行政区の公民館周辺や公園に設置されていた遊具

は老朽化のため撤去され、一部現存している遊具も老朽化が進行している。各行政区、子ども会の活性化や幼児児童の憩いの場所として、遊具の再設置はできないか伺いたい。

答 村では平成28年、29年度の一括交付金事業で、

ミースイ公園内に幼児・児童用遊具やバスケットコート、駐車場等の整備を進めております。

伊江村青少年旅行村には、総合運動公園整備事業（アスレチック広場整備工事）において、幼児・児童を対象とした遊具や大人まで楽しめる健康遊具を平成28年、30年度予算で設置を進めているところでありです。



島袋 勉 議員

各区には、農村総合整備モデル事業等で整備した「農村公園」があり、漁港周辺には漁港環境整備事業で設置した、通称「タマン公園」「カメ公園」等がございます。

昭和62年から平成初期にかけて、時代のニーズや事業目的に合わせて設置されてきた公園であり、近年、遊具をはじめとする施設の老朽化が顕著となっていることは否めません。従来、農村公園等の維持管理費につきましては、各区と維持管理委託契約書を結び、「遊具の修繕について、必要性・安全性を確認し、両者で折半し負担する」としていただいているものの、修繕費用も負担が大きいことから、改修が進んでいない現状

にあります。

村といたしましては、当面、子どもたちや保護者の皆さんが安全・安心して利用でき、健康的な遊具を、村管理の公園に集約的に整備することを優先して行い、各区公民館等への遊具整備についても、地域のバランスや補助事業の有無など、総合的に勘案した上で再整備の検討を行っていききたい。

② 環境協力税の導入に向けて

村長 「環境協力税」の導入は、現状では、非常に厳しい状況と考えております

問 伊平屋村においては、環境の美化、保全及び観光施設の維持整備に要する費用に充てるため、旅客船を利用する入域者から1人100円の協力税を徴収している。

伊江村においても自主財源の確保に努め、フラワーアイランドとしての環境美化や保全等の費用に充てる考えはないか伺いたい。

答 「環境協力税」は、平成12年施行の地方分権一括法によって、創設された使途を限定して徴収することができる「法定外目的税」の一つであります。

法定外目的税は、地方公共団体において条例により新設することができるとする税目である。



西崎区公民館の様子



門口公園の様子

り、実際に新たな税目を新設、施行するには、条例可決後、総務大臣との協議及び同意の手続きが必要となります。

県内では、伊是名村、伊平屋村、渡嘉敷村の三村が、法定外目的税として「環境協力税」を導入しており、環境協力税という名称のみならず、税収の使途及び税率も三村共通し、「環境の美化、環境の保全及び観光施設の維持整備に要する費用」に充てる財源として導入をしております。

税率は、1回の入域につき100円で、入域のための乗船券及び航空券を購入する際に徴収をされております。ただし、伊是名村及び伊平屋村では障がい者及び高校生以下

を課税免除としており、渡嘉敷村では障がい者及び中学生以下を課税免除としております。

御質問の「環境協力税」の導入につきましては、税の公平性の観点から入域する観光客等のみを対象とすることができません。したがって、住民も課税対象となり税を納めなければなりません。

本村においては船舶の利便性から高齢者をはじめ、多くの住民が日常的に医療機関への通院、商用及び用事等で往來する頻度が非常に多い状況であり、利用者の過半数を占める住民に対しても等しく課税することは、その負担が過重にならないか懸念をされます。

※一般質問の詳しい内容については公民館またはホームページの議事録をご覧ください。

① MESHサポート運航支援の現状と今後の取り組みについて

村長／今後のMESHの運航再開に向けて村として最大の努力をしていきたい

問 県MESHサポート運航支援につきま

しては、去る3月定例会にて、一般質問をいたしました。その時の答弁によりますと「MESHサポート支援について、伊江村、国頭3村と協力しながら継続的に支援できるとある方策を取り組む」とありますが、4月の運航休止から約5カ月も経っていませんが、いまだ運航休止の状態が続いております。今後、運航再開が可能なのか大変危惧しているところですが、あらためて、MESHサポート運航支援の現状と今後の取り組みについて村長の所見を伺いたい。



山城 善彦 議員

その後、平成29年4月6日付で、大宜味村長、国頭村長、東村長、伊江村長の連名で、継続的に多目的ヘリ運航が実施できるよう、同広域圏理事長宛て要望書を提出しております。

村といたしましては、従来通り沖縄北部連携促進特別振興事業でのMESHサポートの運航再開を目指してまいりましたが、現在の運航体制や12市町村の事業費負担割合をめぐり、自治体間に温度差があることから、継続審議となっている状況にあります。

それらの審議の中で、4村による要望書は、今後、取り下げることにしつつあります。今後の取り組みにつきま

ては、同広域圏や4村を事業主体とする運航事業の継続は、極めて困難な状況となっております。

村といたしましては、北部広域市町村圏事務組合理事会での要望書の取り下げの正式な決定を受けて、今後の対応について検討してまいりたいと考えております。

問 これまで4村と一緒に足並みを揃えそうでしたが、若干トーンダウンしているところがありますので、ここには何かいろいろと事情があるだろうと思いますが、今後、伊江村が独自で、MESHサポートの支援ができないものか伺いたい。

答 伊江村を含めた4村の要望書の取り扱いが決定した後に、伊江村としての対応について考えていきたい。伊江村として事業主体の考え方も一つの方策として持っていることは持っています。

ただ伊江村を除いた11市町村の首長の理解と同意が必要ですので、今後その辺の部分をどのようにして図っていくかというのが、大きな課題となっておりますし、また稲嶺理事長とも、今後胸襟を開

いてその辺の必要性をお願いしていければと思っております。

MESHについては、ほかの11市町村と違って伊江村は独特な状況にあり、伊江村の診療所の勤務体制、診療体制にも大きな貢献がありますし、多くの村民もまたMESH

Hの運航について、非常に関心を持っており、是非継続してほしいという多くの村民の思いがあるので、その辺をしっかりと肝に銘じて、今後のMESHの運航再開に当たっては、一生懸命取り組んでいきたいと思えます。



救急患者を搬送する MESH の様子

① 総合運動公園野球場人工芝採用による夏季時の高温対策は 村長／安全管理の徹底を図り利用者の安全性、快適性の確保に努めていきたい

問 総合運動公園野球場の整備工事が進む中、日常の話題に上がることも多くなり、村民の関心も大きくなっており早い完成、運用を期待するところである。

これまでも何度か、懸念を示して来た人工芝採用による、夏季時の高温について、表層温度天然芝40度に対して、人工芝では60度とかなりの温度差がある事を指摘してきました。施設を安全、安心に利用していただくために、その対策や、運用方法を検討すべきではないかと述べてきましたが、現時点での村当局の見解を伺いたい。

答

現在、総合運動公園野球場整備工事の状況は、メインスタンド、外周ウォール、バックスクリーン、屋外トイレ等の工事を実施しているところでありです。

議員お説のとおり、一般的に人工芝は天然芝より表面温度が高くなることについては



内間 広樹 議員

認識をしております。野球場の人工芝については、一般的な人工芝は、パイルが直毛型の人工芝が主流であります。が、計画している人工芝は、野球専用に開発された捲縮タイプ（芝）の人工芝で、パイル（芝）に特殊な捲縮加工を施した「ちぢれ」タイプであります。パイルの耐久性、ゴムチップの飛散防止、衝撃吸収性を兼ね備え、光の照り返しを低減させることで表面温度も抑制する「温度抑制タイプ人工芝」の採用を考えております。

次に、運用方法を検討すべきではないかの御質問にお答えをいたします。野球場内には4箇所の散水栓を設置する予定でありますので、必要に応じて散水等で温度上昇の抑制など、安全管理の徹底を図

問

農繁期前に、従業員確保の広告掲載を個々の農家で県内、県外へと情報発信していますが近年、反応が鈍く従業員の確保に苦慮しているところでは

② 農業従事者不足の雇用対策について

村長／関係機関を網羅した協議会を設置し
新たな雇用施策へ取り組んでいきたい

答

農業従事者の確保は、農家の自助努力が基本だと考えますが、今後もこのような状況が続くことが想定され、どのような対策がとれるのか行政、JA、農業者団体、その他関係機関と連携し外国人就労も含めた雇用対策協議会を行ってはどうかと考えますが、村当局の見解を伺いたい。

農業従事者の確保については、各農業者団体や農家個人で広告掲載し、県内外へ情報発信などにより、自発的な努力により確保されてきました。近年、村内の民



茨城県で研修を受ける外国人実習生

動力需要の高まりなどに伴い、村内、県内外においても、農業従事者、労働力の確保に苦慮している状況にあると認識をしております。その雇用対策の一環として、外国人技能実習制度を活用し、スリランカ、カンボジ

り利用者の安全性、快適性の確保に努めていきたいと思

アなどから外国人を受け入れた農家も村内で4件あり、延べ16名の実習生が研修し、すでに10名は3年の実習期間を終了し、帰国しているところでもあります。

また、JAおきなわでも、今年から外国人技能実習制度の受け入れ管理団体となり、受け入れ態勢の整備が図られている状況と聞いております。

現実実習制度では、年間を通じた雇用で、最長3年間の制限などがあり、受け入れる農家の負担感が大きいこともありました。新たに県が国家戦略特区制度に基づいて、外国人労働者を受け入れる検討がなされており、雇用期間や就業形態などの見直しも行われる予定となっております。

今後の、農業従事者、労働力確保については、葉たばこ、花卉、さとうきび等各農業生産団体においても、共通の課題として捉え、JA、各農業者団体、関係機関を網羅した協議会を設置し、新たな雇用施策への取り組みや、雇用対策について協議し、農業経営の安定、農業生産の維持・拡大が図られるよう、支援をしてまいりたいと考えております。

※一般質問の詳しい内容については公民館またはホームページの議事録をご覧ください。

① 幼稚園の2年保育計画について

教育長／今年度中に保護者向け説明会を開催していきたい

問

現在、保育所に入所している3才児の関係者は、村からは何の説明も受けておらず、来年度から幼稚園に入園するものと考えています。そこで質問をいたします。

(1) 2年保育

検討委員会は何回開催され、どのような意見が出されたのでしょうか。

(2) 施設、保育体制、保護者負担の面で、教育委員会としては、具体的な計画はあるのでしょうか。

(3) 現在、保育所に入所している3歳児の保護者に対し、村として早目に説明するべきだと思うが、その計画はあるか伺いたい。

答

(1) 今年度6月と8月の2回を開催しており、検討委員会では、教育委員会の職員と、宜野湾市の普天間幼稚園と普天間第二幼稚園の2カ所を視察し、検討委員から「2年保育をするとな」と、現在の幼稚園舎は狭隘である」「トイレの数が少な



名嘉 實 議員

い。靴箱や収納棚の整備が必要」、「職員の配置後には、その職員の研修期間も必要では」などの意見がありました。

(2) 広さを確保するため伊江幼稚園は、東側に増築し、西幼稚園は、北側に増築する予定であります。また、靴箱やかばん等を入れる棚、男女のトイレの増設等が必要となり、保育体制については、両園それぞれ、正職員2人、臨時職員1人、預かり保育臨時職員2人の体制を考えております。保護者負担の面では、現在の保育料を勘案し、保育所で預ける場合と比較して、幼稚園授業料と預かり保育料を合計した場合、保護者負担が増額にならないよう幼稚園

授業料等を減免する等、対策を講じていきたいと考えております。

(3) 実施に向けて見通しがついた段階で入園前の保護者への説明会を予定しておりますが、施設整備等、まだ確定していないものもあり、説明会には至っていないのが現状であります。9月中には、平成31年度から2年保育を実施する旨を、現3歳児以下の保護者全員へ通知すると共に、今年度中に保護者向け説

② 総合運動公園の競技場エリア建設計画について

村長／事業実施の推進に当たっては全庁体制で取組んでいきたい

問

400メートルグラウンドを有する競技場エリア建設計画に対し村民の間では、ムダなものではないかという声広がっているが質問します。

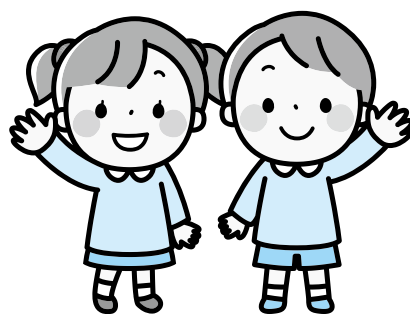
(1) この計画が、当初のスケジュールどおり進んでいない理由と今後のスケジュールについて

(2) 競技場エリア予定地で、反対の農家が出た場合、どう対処するのでしょうか。

(3) 完成した屋内練習場エリアの当初予定の事業費と、最終的な事業費はどうなっているのか。

(4) 野球場エリアの当初事業費と、最終的な事業費の見

明会を開催していきたいと考えております。



込みはどうなっているのか。

(5) 屋内運動場の反射熱の対策について伺いたい。

答

(1) 野球場整備工事の事業スケジュールが当初、平成29年度完了予定でありましたが、国の財政状況により、2力年遅れの平成31年度の完了となっており、計画スケジュールに遅延が生じていることから、競技場エリアの今後のスケジュールについても、実施設計を平成30年度、用地買収を平成31年度、工事を平成32年度開始し、平成34年度完了となり、当初計画より3力年ほどの遅滞が生じる状況にあります。

(2) 地権者に対しては今後とも、地権者への丁寧な説明が重要と考えておりますので、個別説明等を実施いたします。御理解を得られるよう努力して取り組んでまいりたいと思います。

(3) 当初予定事業費は、14億7,651万円で最終的な事業費は、15億5,477万円、負担割合では、国庫負担額が11億9,405万円、村負担額が、3億1,142万円となっております。

(4) 当初事業費は、15億8,353万円で、最終的な事業費の見込みは、16億9,693万円、負担割合は、国負担額が、12億7,270万円、村負担額は、4億2,423万円となっております。

(5) 反射熱については、今後、現地調査を実施いたしまして、改善対策について、検討してまいりたいと考えております。

今後、事業実施の推進に当たっては、地権者及び農家に不利益が出ないよう全庁体制で取組んでいきたい。

※その他名嘉議員から「2018年度から国保の財政運営が市町村から県に移管されることについて」の質問がありました。

※一般質問の詳しい内容については公民館またはホームページの議事録をご覧ください。

議決の結果

平成29年第7回定例会

議案番号	件 名	提案者	議決月日	議決結果
報告第7号	平成28年度沖縄県町村土地開発公社事業報告及び決算報告書の提出について	村長	9月20日	原案報告
報告第8号	健全化判断比率及び資金不足比率の報告について	村長	9月21日	原案報告
同意第4号	農業委員の任命について(資料P15掲載)	村長	9月20日	原案同意
認定第3号	平成28年度伊江村一般会計歳入歳出決算の認定について	村長	9月22日	原案認定
認定第4号	平成28年度伊江村診療所特別会計歳入歳出決算の認定について	村長	9月22日	原案認定
認定第5号	平成28年度伊江村国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	村長	9月22日	原案認定
認定第6号	平成28年度伊江村後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	村長	9月22日	原案認定
認定第7号	平成28年度伊江村水道事業会計利益の処分及び決算の認定について	村長	9月22日	原案認定
認定第8号	平成28年度伊江村船舶運航事業会計利益の処分及び決算の認定について	村長	9月22日	原案認定
議案第45号	平成29年度伊江村一般会計補正予算(第4号)	村長	9月21日	原案可決
議案第46号	平成29年度伊江村国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	村長	9月21日	原案可決
議案第47号	平成29年度伊江村船舶運航事業会計補正予算(第2号)	村長	9月21日	原案可決
議案第48号	伊江村地域福祉計画策定委員会設置条例の制定について	村長	9月20日	原案可決
議案第49号	伊江村障害者計画策定委員会設置条例の制定について	村長	9月20日	原案可決
議案第50号	伊江村情報公開及び個人情報保護に関する条例の一部を改正する条例の制定について	村長	9月21日	原案可決
議案第51号	伊江村税条例の一部を改正する条例の制定について	村長	9月21日	原案可決
議案第52号	伊江村固定資産税の課税免除に関する条例の一部を改正する条例の制定について	村長	9月21日	原案可決
議案第53号	村民レク広場備品購入の契約について	村長	9月20日	原案可決
選挙第1号	選挙管理委員及び補充員の選挙について(資料P15掲載)	村長	9月20日	当選
意見書第2号	MV-22オスプレイの度重なる緊急着陸に対する意見書について(資料P13掲載)	議員	9月22日	原案可決
決議第1号	MV-22オスプレイの度重なる緊急着陸に対する抗議決議について	議員	9月22日	原案可決

議決の結果

平成29年第8回臨時会

議案番号	件 名	提案者	議決月日	議決結果
議案第54号	平成29年度伊江村一般会計補正予算(第5号)	村長	10月4日	原案可決

議決の結果

平成29年第9回臨時会

議案番号	件 名	提案者	議決月日	議決結果
意見書第3号	米軍大型輸送ヘリCH53E型機の事故に抗議する意見書(資料P14掲載)	議員	10月30日	原案可決
決議第2号	米軍大型輸送ヘリCH53E型機の事故に抗議する決議	議員	10月30日	原案可決

議決の結果

平成29年第10回臨時会

議案番号	件 名	提案者	議決月日	議決結果
議案第55号	伊江島はにすくに空調設備改修工事(機械設備)の請負契約について	村長	11月13日	原案可決
議案第56号	平成29年度伊江村一般会計補正予算(第6号)	村長	11月13日	原案可決
議案第57号	平成29年度伊江村診療所特別会計補正予算(第2号)	村長	11月13日	原案可決

意見書提出 再三の米軍関係事故に全議員で要請行動

6月6日、コックピット警告灯の点灯により伊江島補助飛行場に緊急着陸した機体が、8月29日に大分空港に緊急着陸。極めて危険性が高いため、9月22日の第7回定例会においてMV-22オスプレイの度重なる緊急着陸に対する意見書と抗議決議を全会一致で可決した。9月27日には全議員で中嶋浩一沖縄防衛局長へ意見書を提出し、抗議を行った。

また、10月30日の第9回臨時会では10月11日、東村高江集落に緊急着陸し炎上・大破した米軍大型輸送ヘリCH53E型機の事故に関する意見書と抗議決議を全会一致で可決した。国及び米軍関係機関へ意見書と抗議決議を提出した。



意見書を読みあげる島袋議長



伊江村議会として意見書を提出

意見書第2号

MV-22オスプレイの度重なる緊急着陸に対する意見書

米軍普天間基地所属のMV-22オスプレイが、去る8月29日午後6時34分、民間専用の大分空港に緊急着陸した。その後、機体からは白煙や炎が上がったとの報道があった。

同機は、6月6日伊江島補助飛行場でコックピットの警告灯点灯による緊急着陸した同一機である。8月28日にも米軍岩国基地で白煙を上げるなどトラブルが相次いでいる。

同型機は、8月5日にもオーストラリア東海岸での訓練中に搭乗員3名の死者を出す重大な事故を起こし、その原因究明の結果や再発防止策が公表されないままに、このような事態が起きたことに対し、米軍の整備体制や安全管理への取組に疑問を持たざるを得ず、強い憤りを覚えるものである。

これまで再三再四、関係機関へ強く要請を行ってきたが、相次ぐ緊急着陸や事故が発生していることは、伊江島補助飛行場を抱える本村にとって常に危険と隣り合わせの生活を余儀なくされ、村民の不安と恐怖は極限に達している。

よって、本村議会は村民の尊い生命及び財産並びに安全・安心な生活を守る立場から、伊江島補助飛行場を含むオスプレイの度重なる緊急着陸及び事故に対し、米軍及び関係当局に厳重に抗議するとともに、下記事項が速やかに実現されるよう強く要求する。

記

1. 同型機の飛行を即時中止するとともに、事故原因を徹底究明し、速やかに公表すること。
2. 実効性のある再発防止策を講じ、実施状況を明らかにすること。
3. 日米地位協定を抜本的に改定すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成29年9月22日

沖縄県国頭郡伊江村議会

あて先：内閣総理大臣、防衛大臣、外務大臣、沖縄及び北方対策担当大臣
沖縄防衛局長

※同様に抗議決議を米軍関係機関へ提出しました。

意見書第3号

米軍大型輸送ヘリCH53E型機の事故に関する意見書

平成29年10月11日午後5時半頃、沖縄県北部地域東村高江集落の民間地に米軍大型輸送ヘリCH53E型機が緊急着陸し、炎上・大破した。

事故現場は、民間所有の牧草地で刈取作業がピークを迎える中、所有者は別の畑で作業をしており、危うく難を逃れた。さらに、事故現場から最も近い住宅地まで約300mの距離で、一步間違えれば人命にかかわる大惨事になりかねない重大な事故である。又、現場から、福地ダムの流域界までわずか400mで、本島全域の飲用可能な水（上水道）の6割が送水されており、県民に不安な声が広がっている。

平成16年に宜野湾市の沖縄国際大学に墜落した同型ヘリや、平成25年に宜野座村内に墜落炎上したHH60G型機など、これまでも県内では米軍航空機による事故が繰り返されている。

北部地域において、伊江島補助飛行場や北部訓練場、キャンプシュワブ、キャンプハンセン等、多くの米軍訓練施設が存在し、昼夜を問わずヘリなどの飛行訓練が頻繁に行われ、事故も発生していることから、飛行経路となっている集落や着陸帯に隣接する地域住民を不安に陥らせている。

このような中、名護市における米軍オスプレイ墜落事故から1年も経たないうちに、今度は大型輸送ヘリが東村の民間地で炎上・大破した事故が発生したことは、極めて遺憾であり、沖縄の基地負担軽減を掲げる日米両政府の責任は重大である。

伊江村議会は、過去に同様な事故が発生するたびに、幾度となく抗議決議を行い、米軍への再発防止や飛行停止を訴えてきたが、またもや原因究明や再発防止策の説明がないまま飛行が再開された。

このように住民の安全・安心に配慮せず、不安な思いを真摯に受け止めない日米両政府に対し、激しい憤りを禁じ得ない。

よって、伊江村議会は住民の生命と財産を守る立場から今回の事故に対し、厳重に抗議するとともに、同型機ヘリの飛行中止を求める。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成29年10月30日

沖縄県国頭郡伊江村議会

あて先：内閣総理大臣、内閣官房長官、外務大臣、防衛大臣、外務省全権大使沖縄担当、
沖縄防衛局長

※同様に抗議決議を米軍関係機関へ提出しました。

農業委員及び選挙管理委員紹介

農 業 委 員

玉 城 増 生 (川 平 区)
 知 念 正 和 (東江前区)
 大 城 貴 子 (西 崎 区)
 玉 城 正 芳 (西江前区)
 知 念 雄 二 (西江上区)
 東 江 良 和 (阿 良 区)
 知 念 順 司 (真 謝 区)
 大 城 進 (東江上区)
 西 江 正 (東江上区)

選 挙 管 理 委 員

東 江 勝 秋 (東江上区)
 城 間 正 治 (東江前区)
 金 城 八重子 (西江前区)
 照 屋 善 市 (西 崎 区)

研 修 報 告

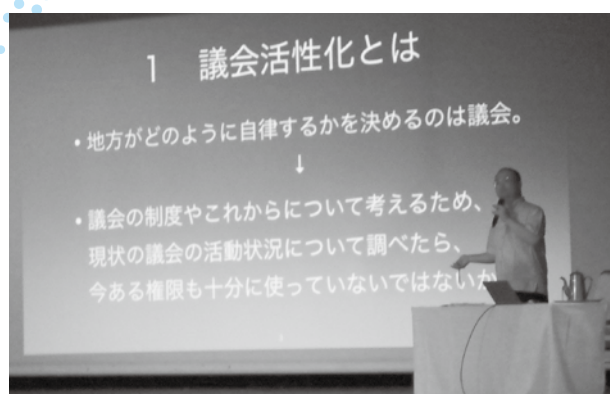
Training report

沖縄町村議会議員・事務局研修会 「議会活性化」とは！

全議員 H29年10月12日

今回は、「議会力のアップについて」と題し新潟県立大学准教授の田口一博氏を迎え、地方がどのように自律するかを決めるのは議会、他県の事例を踏まえ講演が行われた。

また、「沖縄県の日米地位協定の見直しに関する要請について」沖縄県知事公室長の謝花喜一郎氏が、東村で起きた米軍大型輸送ヘリ事故の対応についてなど現在の状況について講演が行われた。



田口氏による講演

総務常任委員会

日程：平成29年9月7日(木)～11日(月)

参加者：渡久地政雄委員長、亀里敏郎副委員長、名嘉實委員
知念一吉委員、島袋義範議長、事務局1名、執行部2名

平成22年度発表の都道府県別平均寿命では沖縄県が男性79.4歳(30位)、女性87.02歳(3位)となっており『沖縄の健康が危ない』と言われ、男女とも平均寿命日本一の長野県を調査してきました。

また、東京では豊島市場においてアジア野菜の調査を行い、宮城県では、東日本大震災の被災地石巻市と女川町の復興現場を視察し、6年が経つ現在でも十分とは言えないものの復興は着実に進み、海岸線には「海岸堤防」「津波避難タワー」「高盛土道路」が整備され津波対策がなされていました。また、第11回全国和牛能力共進会(第5区)では、これまでの最高位となる優等7席の好成績で伊江島牛の名声を広め、畜主及び関係者の皆様に感謝いたします。2022年鹿児島大会への出品と上位入賞を期待し、総務常任委員会の所管事務調査報告とします。

9/8



長野県庁での意見交換

9/8



長野シルバー人材センターでの様子

9/9



豊島市場での様子

9/9



石巻市のボランティアガイドにより震災の説明

9/9



復興を進める女川町の様子

健康第一全議員ダイエットチャレンジ!

今回の所管事務調査を活かし、9月22日から体重測定を実施、12月定例会後に変化はあるのか?
乞うご期待…

経済・公営企業常任委員 所管事務調査 研修報告

日程：平成29年9月8日(金)～12日(火)

参加者：知念一邦委員長、内間広樹副委員長、内田竹保副議長、山城善彦委員
島袋勉委員、事務局1名、島袋秀幸村長、執行部1名

平成29年9月8日より12日の日程で、経・公委員5名、村長、行政職員1名、事務局1名で、村の産業振興に資することを目的とし、宮城県、山形県、茨城県の先進地調査を行った。南三陸町では災害地復興視察、宮城総合運動公園及び合宿施設の視察や全国和牛能力共進会では視察及び激励を行った。

また山形県では本村から多くの子牛を購入している(株)スカイファームおざき、JAみちのく村山と意見交換を行い、茨城県では本村でキャンプを行っている日立製作所野球部を表敬し、その後グリーンビジネス協同組合において外国人技能実習生の就労現場視察や意見交換等、有意義な調査となり今後の委員活動、議員の施策提言の参考として取組んでいきたい。

9/9



南三陸町では仮設献花台で献花を行った

9/9



宮城県総合運動公園の合宿施設の様子

9/10



(株)スカイファームおざきで尾崎専務より現状説明

9/10



第11回全国和牛能力共進会会場の様子

9/11



日立製作所野球部に表敬

9/11



グリーンビジネス協同組合での意見交換

“みんなの声”



聞いてみました

村内の産業や各地域で頑張っている方々にスポットをあて、地域の声を掲載しています。第5弾として観光業に携わる皆さんに聞きました。



ふるげん こういち

古堅 幸一(61)
(西江上区)

伊江村観光協会会長を務め3年目、観光協会全体として、民泊(民家体験泊)では年間延べ18,000名(平成28年度)の修学旅行生が本村を訪れています。

古堅さんから一言

これからも多くの修学旅行生が安心して、いろいろな体験が出来るよう島は1つという気持ちで頑張っていきたいと思います。

あと、島に移住したくても出来ない人がいるので古民家改築等住める場所を増やして欲しい。



海を見てはしゃぐ長野県の子供たち



たましろ ゆずる

玉城 譲(52)
(川平区)

株式会社こころの代表取締役を務め、14年前から民泊を行い、当初は年間300名の受入から始まり現在では年間延べ32,000名(平成28年度)の受入を行っています。

玉城さんから一言

養殖場の一部を利用し、ハイビスカス等を植栽して迷路を作り子供たちが遊べる場所を増やして欲しい。

また、港の近くに人工ビーチ等があれば、観光客も子供たちも、いろいろな体験ができ楽しめると思います。



別れを惜しむ子供たち



まつやま まさひろ

松山 正浩(57)
(東江前区)

兵庫県の出身で、沖縄観光コンベンションビューローから今年4月に伊江村観光協会事務局長として本村に赴任してきました。

本村に多くの観光客が訪れるよう、各方面とタイアップして観光振興の向上に取り組んでいます。

松山さんから一言

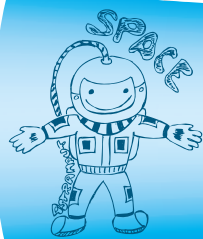
多くの観光客が島に訪れたいがフェリーの乗船人数制限により諦めてしまうことがあり、今後、本部港に大きな旅客船が接岸することから増便を検討して欲しい。



電話対応に追われる職員

い え そんかん こうしん こうれんらくきょうぎ かい
伊江村観光振興連絡協議会

伊江村長及び観光に携わる15機関で構成したメンバーで協議を行っています。



私たちの未来

Vol.2



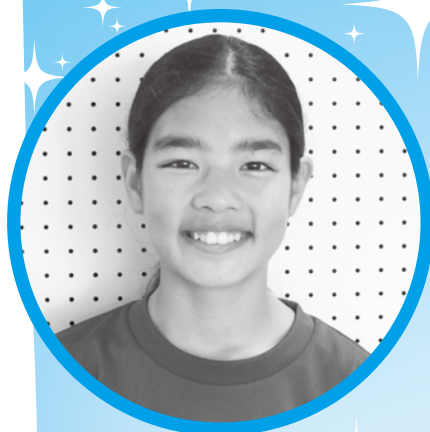
村内の子供達に

将来の伊江島について聞いてみました。

伊江小学校6年

石川 美葉 (いしかわ うるは)

阿良区



私は、基地をなくして大きなデパートを建て、その中には映画館や洋服屋やケーキ屋を入れ、観光地を利用した結婚式を挙げられるところを造ったら働く人が増えて人口も増えると思います。

また、伊江島と本部町を結ぶ橋を造るなら、ビーチが汚れないように橋をかける場所は皆で考えて造りたいです。

※将来の夢は、動物に携わる仕事か、料理関係か、ウエディングプランナーになりたいです。そのために犬の世話をしたり、家で料理の手伝いも頑張っています。

西小学校6年

下門 南生 (しもじょう なお)

川平区

僕は、城山の近くに植栽をして島をもっと緑豊かにし、海も地域の人やボランティアの方々に綺麗にしたり、基地を小さくして、その跡地に自然体験もできて宿泊できる観光施設を造って観光客をよびたいです。

また、島と本島を繋ぐ橋を造り、いつでも島に来れるようにしたいです。

※将来の夢はサッカー選手です。好きな選手はバルセロナのスアレス選手のようなドリブルが上手な選手になりたいです。

スアレス選手みたいになれるよう、走る練習やシュート練習を頑張っています。



伊江中学校3年

金城 空逢 (きんじょう あくあ)

東江上区



私は、今の伊江島も大好きだけど、もっと沿道にハイビスカスやユリ等の草花を植栽して、道を歩いても、車でドライブしていても誰もが笑顔になれるそんな明るい島にできたら良いと思います。

また、島には島の良さがたくさんあるので、その魅力を全国に発信できたらと思います。

※将来の夢は日本とアメリカを拠点に世界で活躍する女優、ダンサーになりたいです。

子供ができれば伊江中学校に通わせたいです。

ワッタウムイ

「ワッタウムイ」とは伊江島の方言で「私たちの思い・考え・真心・愛情」という意味。

「島くとうば」での読み聞かせをボランティアで行っている、玉城美千代（たましろみちよ）さん、新島初枝（にいじまはつえ）さん、長嶺照子（ながみねてるこ）さん、知念レイ子（ちねんれいこ）さん、知念光江（ちねんみつえ）さん、西江幸子（にしえさちこ）さんは、本村の方言を研究している生塩睦子（おしおむつこ）先生から方言を教わり、方言での紙芝居や歌などを作成し、保育園や小学校の他、離島フェアでの「島くとうば」紙芝居は大好評でした。



依頼があれば
いつでも
訪問します

離島フェアでの紙芝居発表

朝ご飯をしっかり
食べ、今日も1日
元気なあいさつ♪

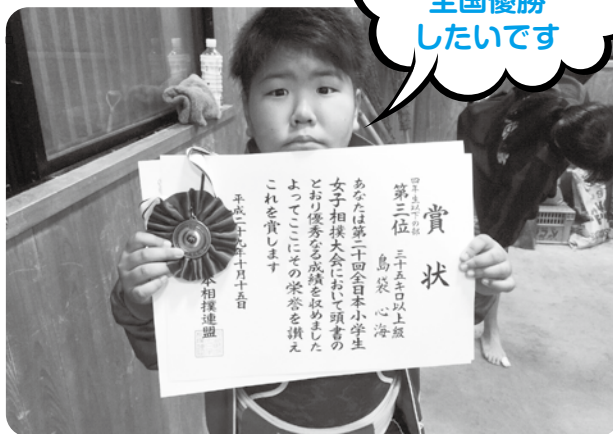


老人クラブによる朝の挨拶運動の様子

毎週金曜日に、伊江小学校の正門で「あいさつ運動」を行う老人クラブの皆さん、朝から子供たちの明るく元気な声を聞くと、自分達が元気をもらい、今日も1日頑張るぞって気持ちになります。

これから「あいさつ運動」を通して子供たちとコミュニケーションを図ってきたいです。

来年は絶対に
全国優勝
したいです



第20回全日本小学生女子相撲大会が大阪の堺市で開催され伊江西相撲クラブの島袋心海（しまぶくろしんか）さんが4年生の部で出場し見事3位に輝きました。

全国大会で3位入賞を果たした島袋さん

議会の活動

平成29年
9月

- 4日：オスプレイ飛行中止に伴う要請（議長）嘉手納町
- 7日～11日：所管事務調査 長野県・東京都・宮城県（総務常任委員会）
- 8日～12日：所管事務調査 宮城県・山形県・茨城県（経・公常任委員会）
- 14日：議会運営委員会
- 14日：全員協議会
- 17日：第62回伊江村陸上競技大会
- 18日：老人ホームいえしま「敬老会」（議長）
- 20日～22日：定例会（全議員）
- 21日：JA園芸生産組合総会（議長）
- 26日：第40回北部地区畜産共進会（議長・経・公委員）今帰仁村
- 27日：オスプレイ飛行中止に伴う要請（全議員）嘉手納町
- 27日：伊江村和牛改良組合総会及び全共解散総会（議員）



北部畜産共進会での審査状況

10月

- 2日：伊江村農業委員辞令交付式（副議長）
- 2日～3日：北部議長会理事会・総会（議長）伊平屋村
- 4日：葉たばこ販売激励（全議員）
- 4日：第8回臨時会（全議員）
- 5日～6日：県町村議長会定例理事会（議長）北大東村
- 7日：第33回やんばる産業祭りオープニング（議長）名護市
- 8日：西江前区民俗芸能発表会（議員）
- 11日：県町村議会議長会定例総会（議長）那覇市
- 12日：県町村議会議員研修会（議員）糸満市
- 16日：葉たばこ販売終了会（議長）
- 18日：村観光振興推進協議会（議長・経・公委員長）
- 24日：議会運営委員会
- 30日：第9回臨時会（全議員）



西江前区民俗芸能発表会の様子

11月

- 2日：全国火災予防運動に係る防火デー（議員）
- 2日：汚水処理施設整備計画検討委員会（議長・経・公委員長）
- 3日：第43回沖縄県畜産共進会（議長・経・公委員）糸満市
- 5日：西小学校運動会
- 6日～7日：県議会総務企画委員来村
（議長・総務委員長・経・公委員長）
- 8日：村民俗芸能激励会（議長）
- 9日：阿部慎之助選手の観光親善大使への
就任式及び激励会（議員）
- 11日：伊江村民俗芸能発表会
- 13日：第10回臨時会（全議員）
- 17日：北部港運創立50周年祝賀会（議長）本部町
- 17日：パラシュート落下事故現場確認（全議）
- 18日：2017離島フェア（議長・総務委員）那覇市
- 19日～23日：地方自治法施行70周年記念式典（議長）東京
第36回離島市町村議会議長全国大会（議長）東京
第61回町村議会議長全国大会（議長）東京
- 20日：広報委員会
- 21日：パラシュート降下訓練に伴う抗議要請（副議長）嘉手納町
- 26日：伊江村郷友会運動会（議員）南風原町



阿部選手とステージを楽しむ皆さん



多くの客でにぎわう離島フェア



題字提供はの方



▲ 題字を書いていた知念静枝さん
大正10年10月10日生まれ(96歳)
(東江前・屋号 ごんいちゃんやー)

題字執筆者紹介

いつもお元気で誰にでも優しい静枝さん。手先がとても器用で編み物が得意!! 帽子作りに励まれています。

96歳になった今でも、毎日、日記を書く事を習慣にされている、すごい静枝さんです。



編集後記

昨年、「みんなの声聞いてみました」や前号より「私たちの未来」など、地域産業や子供たちの夢を取材し広報誌制作を行っています。

これからも村民みなさまに、興味のもてる議会広報誌を制作していきたいと思いますので宜しくお願いします。皆様の声をお待ちしています。

議会広報事務局 知念一史

傍聴席へどうぞ

傍聴を希望される方は、お気軽に議会事務局までお問い合わせください。



タツちゅん



TEL 0980-49-2924 (直通)